

# 三河の昆虫

No. 24 1979年10月

〒441-01 宝飯郡小坂井町  
大字伊奈字佐脇原 300-1062  
山崎隆弘方  
三河昆虫研究会 発行  
水谷印刷印刷  
☎ (05362) 3-1211(代)

## カミキリムシ調査報告 (1)

### 蒲 郡 市 御 堂 山

山崎隆弘

ヒメハルゼミの生息地として知られている蒲郡市御堂山(363.4m)で、若干のカミキリ類を採集したので報告する。

#### ハナカミキリ亜科 Lepturinae

1. *Anoplodera Scotodes* (BATES, 1873)  
ツヤケシハナカミキリ  
9exs., 25 V 1978  
ガミズミの花上には多かった。
2. *Leptura aethiops* PODA, 1961  
クロハナカミキリ  
1ex., 25 V 1978  
ガマスミの花上で採集した。
3. *L. aethiops dimorpha* BATES, 1873  
ムネアカクロハナカミキリ  
1ex., 22 V 1975 1ex., 25 V 1978  
前種の亜種となっているが、1型と考えられている。同時に採集される。

#### カミキリ亜科 Cerambycinae

4. *Aeolesthes chrysothrix* (BATES, 1873)  
キマダラカミキリ  
1ex., 15 VI 1979  
この他、朽木内で成虫越冬中のものを採集したことがある。三河南部には普通。
5. *Chlophorus japonicus* (Chevrolat, 1863)  
エグリトラカミキリ  
1ex., 22 V 1975 11exs., 25 V 1978  
ガマスミの花上に多い。その他記録多し。

6. *Dere thoracida* WHITE, 1855  
ホタルカミキリ  
1ex., 25 V 1978  
採集したのは1頭だが、多産する。

#### フトカミキリ亜科 Lamiinae

7. *Asaperda rufipes* BATES, 1873  
キクスイモドキカミキリ  
2exs., 25 V 1978
8. *Pterolophia zonata* (BATES, 1873)  
アトジロサビカミキリ  
15exs., 6 V 1979 4exs., 15 VI 1979  
*Pterolophia* 中本種が最も多産していた。
9. *P. caudata* (BATES, 1873)  
トガリシロオビサビカミキリ  
11exs., 6 VI 1979 3exs., 15 VI 1979  
中復以上のフジズルに多かった。
10. *P. annulata* (Chevrolat, 1845)  
ワモンサビカミキリ  
4exs., 6 VI 1979 1ex., 15 VI 1979  
三河南部の各所で記録されている種
11. *P. jugosa* (BATES, 1873)  
ナカジロサビカミキリ  
2exs., 6 VI 1979  
御堂山ではやや少ないようであった。
12. *Egesima bifasiana* (MATSUSHITA, 1933)  
ニイジマチビカミキリ  
17exs., 6 VI 1979 3exs., 15 VI 1979

三河地方では豊川市、豊橋市、渥美町で記録されている。御堂山では多産していた。

13. *Rodopina lewisii* (BATES, 1873)

セミスジコブヒゲカミキリ

2 exs., 16 VI 1979

三河地方では猿投山、段戸、石巻山、稲武町で記録されている。中復で1ペアを得た。

14. *Exocentrus testudineus* MATSUSHITA, 1934

キッコウモンケシカミキリ

1 ex., 15 VI 1979

三河地方に広く分布している種。

15. *E. lineatus* BATES, 1873

アトモンマルケシカミキリ

1 ex., 6 VI 1979

三河地方では稲武町、豊川市、東栄町で記録されている種。

16. *E. guttulatus* BATES, 1873)

シラオビゴマフケシカミキリ

1 ex., 6 VI 1979 4 exs., 15 VI 1979

三河地方では稲武町、豊橋区での記録があるが、まだ記録の少ない種。

17. *Glenea relictata* PASCOE, 1858)

シラホシカミキリ

カミキリムシ調査報告 (2)

宝飯郡御津山

山崎隆弘

御津山(97m)の甲虫については、既に山崎隆弘(1977)<sup>1)</sup>、松野更一(1979)<sup>2)</sup>によって報告されているが、カミキリムシ科については、タテジマカミキリ<sup>3)</sup>1種が知られているに過ぎない。

筆者は、最近になって若干の本科を追加することができたので、ここに報告したいと思う。

カミキリムシ科

1. *Spondylis buprestoides*(LINNE, 1758)

クロカミキリ

2頭, 12. VI. 1978 3頭, 17. VI. 1978

2. *Anoplodera scotodes* (BATES, 1873)

ツヤケシハナカミキリ

1頭, 10. V. 1979

3. *Massicus raddei* (BLESSIG, 1872)

2 exs., 15 VI 1979

材上で得た。

今回得られたものは、わずかに17種であった。今のところ、御堂山を産地として報告されたものは、他にミドリカミキリ<sup>3)</sup>があるだけである。このように御堂山のカミキリについてはまだ一部を報告したに過ぎない。しかし、この植物についてはよく調査をされており、きわめて豊富である<sup>1)</sup>。このことから、今後多くの追加種が期待されるので、これらをもとにして、御堂山のカミキリ相を究明されることを望む次第である。

文献

- 1) 大原準之助(1971)三河湾国定公園の植物(第一集), 三河湾国定公園蒲郡地区協議会
- 2) 山崎尚之(1967)蒲郡市のカミキリムシ科調査報告, 佳香蝶, 19(70): 58~60
- 3) 山崎隆弘(1975)蒲郡市の昆虫類, 虫譜 14: 19~34

ミヤマカミキリ

1頭, 5. VI. 1978 (灯火)

4. *Margites fulvidus*(PASCOE, 1858)

キイロミヤマカミキリ

1頭, 31. V. 1979 (樹葉上)

5. *Asaperda rufipes* (BATES, 1873)

キクスイモドカミキリ

1頭, 31. V. 1979 (樹葉上)

6. *Niphona furcata*(BATES, 1873)

ハイロヤハズカミキリ

1 ex., 10. V. 1979 1 ex., 31. V. 1979

7. *Pterolophia zonata*(BATES, 1873)

アトジロサビカミキリ

1頭, 31. V. 1979 9頭, 5. VI. 1979

8. *P. caudata*(BATES, 1873)

トガリシロオビサビカミキリ

5頭, 5. VI. 1979 (枯枝上)

9. *P. annulata* (CHEVROLAT, 1845)

ワモンサビカミキリ

2頭, 31. V. 1979 (枯枝上)

10. *Glenea Vrelicta* PASCOE, 1858

シラホシカミキリ

2頭, 31. V. 1979 1頭, 5. VI. 1979

11. *Phytoecia rufiventris* GAUTIER, 1870

キクスイカミキリ

1頭, 10. V. 1979 (ヨモギ葉上)

12. *Oberea inclusa* PASCOE, 1858

ホソキリンゴカミキリ

2頭, 31. V. 1979 (草地)

御津山のカミキリムシ科は、これで13種が知られたに過ぎない。まだ多くの種が生息していると思われるので、今後も、機会あるごとに調査をして行きたいと思っている。

### 文献

- 1) 山崎隆弘(1977)宝飯郡御津山の採集品について, 三河の昆虫, 19:73~76
- 2) 松野更一(1979)御津山のコガネムシ, こめつきむし, 1:11~13

## 本 宮 山 採 集 会

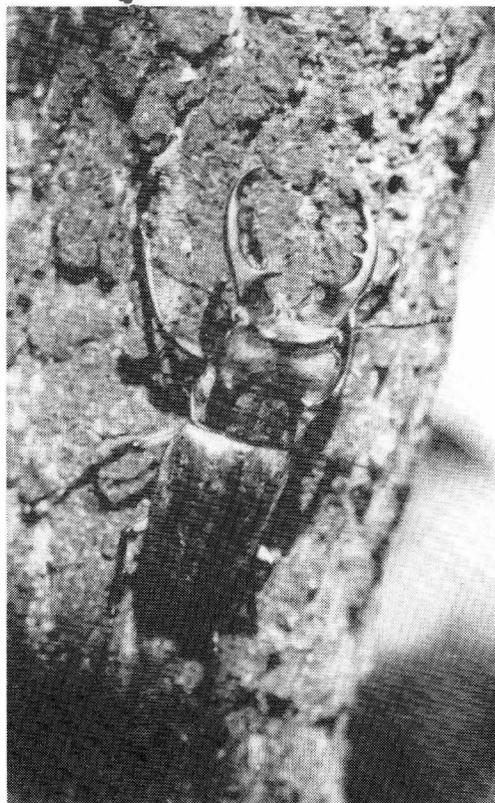
鳥 居 彰

7月8日は三河昆虫研究会の採集会を本宮山で行なった。午前9時くらがり溪谷登山口に集合したのは、山崎隆弘氏、鈴木友之氏、浅岡孝知氏、沢喜弘君、村田文彦君、西川誠君、そして私(鳥居)の7名であった。登山口のロッヂで簡単な自己紹介を行ない、山崎さんより「こめつきむし」No.1が配布された。

あいにくの曇り空に時おり小雨がまじる最悪の天候であったが、くらがり登山道を本宮山々頂へ向けて出発することにした。天候のせいもあってか蝶類は少なく、ジャノメチョウ、クロヒカゲ、ウラギンスジヒョウモン、キマダラセセリ等少数が得られたのみであった。時期から考えても蝶類は最も多いシーズンなので、ぜひとも再調査したいものである。

甲虫類ではカメノコテントウ、スジクカガタ、ミヤマクワガタ、オトシブミ、カツワツツハムシ、マルモンサビカミキリ等が採集できた。また山頂近くでタタキあみによってオオトラフコガネ(山崎)も得られた。

来シーズンもこのような採集会が各地で行なわれると思われるので、会員諸氏の参加を希望する。



ミヤマクワガタ  
本宮山(1979. 7. 8)

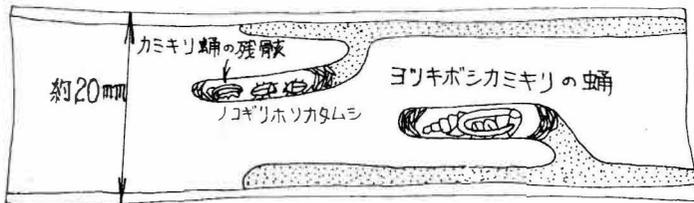
## ノコギリホソカタムシの生態一例

河 路 掛 吾

筆者はノコギリホソカタムシ *Endophloeus serratus* SHARPの生態の一例を観察したので報告する。

1978年2月19日に南設楽郡鳳来町において、カミキリムシ採集のためヌルデの枯枝を採集した。当日、自宅で枯枝を割ったところ、材心部の蛹室中にノコギリホソカタムシの1♂、1♀を見つけた。その蛹室はまったく破壊されてお

らず、本種はカミキリが蛹室を造る以前に入り込んだと考えられる。また蛹室中にはカミキリの蛹の一部(触角、腹節尾端部)が残っており、明らかに本種に食われた残骸と思われる。カミキリの幼虫に成虫2頭が追いつき蛹室を造り蛹になるまで待っていたとは考えられないため、卵または、幼虫の形で奇生していたものと推定する。



## オオキンカメムシを豊橋市細谷町で採集

松 野 光 恭

オオキンカメムシ *Eucorysses grandis* Thunberg が豊橋市細谷町の海岸で採集されたので報告する。

1頭 9. X. 1979 増田芳規氏採集

本種は海岸の波打ち際にいたうえだいぶ弱っていたため、どこから流されて来たものか飛来

したものかわからないが、比較的珍しい種だと思われるので報告することにした。

末筆ながら貴重な標本を恵与された愛知大学生物研究愛好会の増田芳規氏に対し厚くお礼申し上げます。

## ゲンゴロウを豊根村で採集

松 野 更 一

1979年7月21日、愛知県北設楽郡豊根村三沢地区内の大幹線林道で燈火採集を行なったところ、ゲンゴロウ *Cybister japonicus* SHARPの雄1頭を採集したので報告する。

本種は、以前は池や溜池などで普通に見られた種であるが、急速な開発と農薬の普及により水質の汚濁が進行して、著しく減少した種である。当地方でもその傾向が顕著で、ここ数年来本種の採集記録は殆んどない。

このような種が豊根村に生息することは、まだこの地域では良好な自然環境が部分的には保全されている証拠で、平地や低山地帯の生息地の多くが開発されて失われていることを思うと貴重な生息地である。

末筆ながら採集に御協力頂いた原田猪津夫・竹内克豊両氏と発表を勧められた山崎隆弘氏に心から感謝申しあげる。